



コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館

TEL:0220-55-2124

吉田コミュニティ運営協議会

(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

キッズサークル 第7回学習会「雪上体験」(1月27日)

米山地区3公民館合同「雪上体験 in 花山」。国立花山青少年自然の家に総勢45名参加。自然の家に着くと7班に分かれての活動。午前中は各自工夫を凝らした世界に一つだけの可愛いミニランタンづくり。昼食はお楽しみバイキング。美味しそうに食べていました。

待ちに待った午後の雪上体験!!花山でも今年初めての積雪。新雪の上をそり遊び、チューブ滑りと期待が大きかったが、中々滑れずこける姿が又、可愛かったです。それでも工夫しながら、最後はみんな楽しく雪遊びを満喫。笑顔一杯の一日でした。帰りは、仲良しのお友達との別れが寂しいのかバスの中でも手を振り合っていました。



平筒沼いこいの森見守り隊 移動研修会(1月30日)

平筒沼いこいの森の見守り活動をしているボランティアの皆さんの移動研修会を県庁ほかで実施しました。今回は特別に県庁の知事室がある4階フロアの記者会見室を案内してもらいました。毎週月曜日の昼や夕方のニュースで知事の記者会見の様子が報道されていますが、その部屋を見学してきました。正面に知事が立つ演台があり、記者席が並び、テレビ用の照明や放送機材がありました。中新田の伊藤さんが演台に立って、記者会見ごっこもしてきました。県政の情報発信の現場を垣間見た、貴重な体験をしてきました。18階展示室には歴代知事が使用した机がありました。



米山地区3公民館合同 とっておきの学習会(2月15日)

仙台市を中心に漫才・コントなどで舞台やメディアに出演している、お笑い集団仙台ティーライズから、ニードル、ふあん★がーる、まえさかチャンネル、おもしろビックリ高校生の4組を迎え、漫才やコントなどを披露していただきました。

普段、生で見ることのないプロの漫才・コントの熱演に参加者の皆さん大喜び!会場には皆さんの笑い声と拍手が響きました。多くの方から「来年も呼んでください!!」と大好評の学習会でした♪



世代間交流レクリエーション大会(2月18日)

コロナ禍で2年中止し、昨年は規模を縮小してのグラウンドゴルフ大会でしたが、今年度は4年ぶりに以前同様の競技種目に戻してデカパン競争や玉入れなど6種目を実施しました。

302人と大勢の方に参加していただき、大変盛り上がり、地域のまとまりを感じた大会となりました。来年度はもっと多くの方が参加できる競技内容に見直し、更に盛り上がる大会にしたいと考えておりますので、皆さんのご参加お待ちしております。



吉田地区地域づくり計画策定委員会（2月20日）

第7回目の全体会議を開いて令和6年度を初年度とする5年間の地域づくり計画書が了承されました。併せて毎戸配布する予定の概要版についても了解されました。会議で指摘された数か所を加除訂正して、3月中旬には登米市に計画書本文を提出し、3月18日には概要版を各家庭にお届けすることにしております。

計画策定にあたり住民の皆様には、住民アンケートにご協力いただきありがとうございました。大変貴重なご意見やデータを頂戴することができました。アンケート結果は共通理解を持ちたいと考え「分析レポート簡易版」を作成して12月に毎戸配布したところです。

策定委員の皆様には、6月30日の第1回から毎月のように開催した会議で貴重なご意見をいただきましたことを御礼申し上げます。今後ともご指導方よろしく申し上げます。

住民の皆様には、吉田コミュニティ運営協議会が実施する地域づくり事業及び公民館事業にご理解とご協力、そして積極的な行事への参加をお願いします。

室内グラウンドゴルフ 第3回予選大会（2月21日）

3月に開催されるグラウンドチャンピオン大会決勝戦の出場権を賭け最後の予選大会が開催されました。参加選手26名と前回大会より人数も増え、いつものように賑やかに開催されました。

1打目からホールインワンを出す調子が良い方もいれば、「今日は調子が悪いな〜。」「もっと練習に来れば良かったや〜。」という方も。皆さん面白楽しく、入賞めざし時折真剣に取り組んでいました。今回の優勝は酒井みよ子さんでスコアは32点でした。

今回で予選大会は終了し、出場権を獲得した30名の方々が3月21日（水）に登米蔵ジウムで開催される決勝大会に出場します。どんな試合になるかとても楽しみです。



ホームメイドクッキング（2月22日）

「骨こつ貯金をしよう！！」をテーマに1年間（6回コース）で実施してきました。

今回はその中でも「フレイルを予防しよう！」とフレイルについて、1. 栄養・口腔（主食・主菜・副菜のバランス）2. 体を動かす（無理せずにながら運動を心掛ける）3. 社会とのつながり（趣味やボランティア等、外出の大切さ）等を学びました。

その後の調理実習。今回は簡単で可愛いケーキ寿司や、ちょっと手を加えたタラの明太子マヨ焼き等見た目も最高。学級生は今回も「美味しい」の一言でペロリと平らげていました。



この指とまれ！（2月25日）

学級生と学級生のお子さん総勢20名が参加し、今年度最後の学習会を開催。

今回は、涌谷町の佐藤かほる氏を講師に迎え、家族で協力してスコップケーキ作りに挑戦！！お母さん方は調理しながら洗い物まで！流石でした！お父さん方も積極的に調理、後片付けに参加！！お子さん達も、クリームを混ぜたり、飾り付けをしたり、楽しそうに調理していました♪

出来上がったケーキは、5～6時間、時間をおかなければいけなかったため、各家庭に持ち帰っていただくことになっていたので、先生をお願いして、前日に試食用を作ってきていただき、持って来ていただきました！！調理後、みんなで美味しいケーキを試食して、お腹も心も幸せいっぱいの学習会になりました♪



館長の戯言（ざれごと）No. 28 「ホデナス・バカ・アホ」② 参考図書：「全国アホ・バカ分布考」

平成2年に放映された「探偵！ナイトスクープ」というテレビ番組で、関西は「アホ」と言い、関東は「バカ」と言うが、その境界線はどこかを調べたところ、境界線と思われた岐阜県関ヶ原付近では「タワケ」と言っていた。また、「アホ」と「バカ」の境界線は西日本の広島にもあったなど想定外のことがわかり、再調査することとなり、番組のプロデューサーが全国の市町村教育委員会にアンケートするなど3年がかりで徹底的に調べたのが、450ページにも及び大作で参照図書の「全国アホ・バカ分布考 はるかなる言葉の旅路」です。知的好奇心を120%満足させる驚くべき一冊でした。それもそのはずで日本民間放送連盟賞テレビ娯楽部門最優秀賞などテレビ界のビッグタイトルを総ナメにした番組だったのです。

この本によると古代から江戸末期までに都で流行って地方に広がった「愚か者」を表す主な言葉は、古い順に「ホレモン・ホンジナシ・ホウケ・バカ・ダラ・ダボ・デレ・コケ・ゴジャ・ボケ・タワケ・トロイ・アンゴウ・ヌクイ・アホウ・ハンカクサイ・アホ」と20語以上もあったそうです。次から次と新しい言葉ができて全国に伝わりました。言葉が都を中心に同心円状に地方に伝わる方言圏論の最たる言葉でした。「バカ」が都を出発したのが平安時代の約千年前、都から地方へ千年もかけて旅をしているかのように思えてなりません。

ちなみに宮城県内で現在使われている言葉は以下のとおりです。

バカ系＝バカ・バガ・バガー・バーガ・バガモノ・コバカモノ・バカタレ・バカッターレ・コバカタクレ・

コバガ・バガヤロウ・コバカヤロウ・バガクセ・コバカクセ・コバカクセイ・ウスバカ

ホンジナシ系＝ホデナス・ホデナシ・ホデナシ・ホデアナシ・ホデアナシバガ

アホ系＝アホ・アホウ・アホラアホラ・アンポンタン

その他＝ノツォ、ノッカレ、コッタナイ、アンタラズ、ズラモノ、テホモノ、コボケナス、カンスケ、マヌゲ、ヒャクショウ、ハンカタレ